

おばちゃん
遺伝子が、
日本をどろんと
元気にするー!

船越英一郎 in

おばちゃん チップス

Dialogue in KANSAIBEN

監督・脚本:田中誠(「タナカヒロシのすべて」)

出演:船越英一郎 misono 京唄子

徳井優 河本準一(演習課長) 宮地真緒 キムラ緑子 篠井英介 三浦誠己
鷹赤兒 辻本茂雄 長原成樹 山口美也子 絵沢萌子 梅英雄 イーデス・ハンソン
南果歩 渡辺いっけい 伊武雅刀

製作:ホリプロ、関西テレビ、大阪経済大学

配給:ファントム・フィルム

obachan-chips.com

ずうずうしくてやかましくてお節介・・・ でも“おばちゃん人情”が沁み込んで、 心の温度がぬくくなる。



建設会社のエリートだった家弓修平(船越英一郎)は、長年の夢であった方言研究をするために会社を辞め、はるばる東京から大阪までやって来る。しかし大阪は修平にとって異国の地。のっけから下宿先「樋元商店」のおかみさん・千春(京唄子)を筆頭に、“おばちゃん”たちが修平の前に立ちはだかり、その勢いにブンブン振り回される。職場の大学では生徒たちにコケにされ、妻(南果歩)にも愛想をつかされ、下宿先ではおばちゃんたちにメタメタにされる修平の日々・・・。唯一の安らぎは、向かいのアパートに住む麻衣子(misono)との時間だった。そんな中、実は借金まみれだった樋元商店に、とうとう地上げ屋の魔の手が迫ってくる! 商店がなくなれば、みんなの井戸端会議場がなくなってしまふ! おばちゃんたちの絶体絶命の危機! さあ、どないする!?

主演は、「2時間ドラマの帝王」と呼ばれ、俳優としての存在感と、バラエティーでの活躍でお茶の間に不動の人気を築いている船越英一郎。ヒロイン・麻衣子をいきいきと演じたのは、ソロシンガーとして活躍中であり、今作が映画初出演となったmisono。そして、京唄子、南果歩、宮地真緒、渡辺いっけい、伊武雅刀ら豪華俳優陣が顔を揃え、さらには、徳井優、河本準一(次長課長)など大阪色満載のカラフルなキャストが実現! 時代を追い抜いて走るおばちゃんたちのパワーとあつたかさが、日本を元気にすること間違いなし!

おばちゃんの言動は、奥が深い。

初級

「給ちゃん食べるか?」

いつ何時でも食物を持ち歩くこと。これは単に甘党だからではない。例えば、道端で行き倒れている人に差し出したり、突然災害にあっても、空腹をしのげる。常に「いつ何が起るかわからない」という備えが重要である。加えて「給ちゃん」と「ちゃん」つけて呼ばれる、プロっぱい。

今日本人は、
関西のおばちゃんに
学ぶ必要がある。
少しの努力で、あなたも
「おばちゃん遺伝子」を継承できる。

恥ずかしさは捨てるべき。
どこでもいつでもカフェ。

中級

大阪では、曲がり角毎におばちゃん2~3人組に出会う。基本的に、「道端」はおばちゃんたちの井戸端会議場。立ちっ放しの喫茶店でもよいようか。そこで交わされる議論は、主に今日食べたもののこと、近所の人のゴミの出し方に対する不平など、テーマはさまざまであり、時には数時間にも及ぶことがある。

逆境を逆境と感じない。

上級

「ええがな」

相手の意見を聞いてからという消極さでは生き残れない。おばちゃんたちは、どんな逆境をも、「ええがな」で通すことができる。たとえば、自転車。止めてあればそれは誰の所有物でもない。鍵がかかっているなければおさらである。「自転車貸してえな、ええがな」。言いつばなしでこぎ出すのが流儀である。乗り物は乗ってなんぼ、もったいない精神がここに宿っている。

コレができれば、もう日本は大丈夫。
アニマルファッション

最上級

ゼブラ柄、ヒョウ柄、そしてトラ柄など、彼女たちのビビッドな色使いと柄使いのセンスは他に類を見ない。そのサプライズ効果で世間を明るくするという社会貢献が含まれている。ココで重要なのは、消してリアルな蛇皮や毛皮ではないということ。動物を愛する心から、おばちゃんたちはあくまでも「柄」が動物であることに誇りを持っている。

心得ておこう

中級

売り物はすべて、
「タダかもしれない」と心得る。

ケチくささ炸裂である。しかし、商品価値を確かめる上で重要な姿勢であることは間違いなし。おでんも、「汁だけ頂戴、タダやろ、汁だけやねんから」とオーダーすれば、その商品価値は「具」とあると分かる。「タダより安いものはない」、その通りである。



監督・脚本：田中誠(「タカヒロシのすべへ」) 出演：船越英一郎 misono 京唄子 徳井優 河本準一(次長課長) 宮地真緒 キムラ緑子 篠井英介 三浦誠己
 藤原亮 辻本茂雄 長原成樹 山口美也子 給沢萌子 神英雄 イーデス・ハンソン / 南果歩 渡辺いっけい 伊武雅刀
 製作総指揮：堀威夫/製作：山田滋敏・岡林可典/プロデューサー：梶野祐司、須野祝/アシリエイト/プロデューサー：井上潔/ラインプロデューサー：植野亮/撮影：佐々木原保志/
 照明：安河内史之/録音：長島慎介/美術：磯見俊裕/スクリーンライター：吉田久美子/助監督：武正晴/音楽：住友紀人/主題歌「雨に咲く花」中林静依(ユニバーサルミュージック)/
 特別協力：江崎グリコ、制作プロダクション：ホリプロ/製作：ホリプロ、関西テレビ、大阪経済大学
 (2006年/日本/カラー/ビスタサイズ/dtsステレオ/1時間52分) 配給：ファントム・フィルム ©2006年「おばちゃんチップス」製作委員会 www.obachan-chips.com

おばちゃん
Dialogue in KANSAIEN
チップス

2007年1月下旬、ロードショー!!

特別鑑賞券¥1,500(税込)絶賛発売中!(当日一般:¥1,800の処)
劇場窓口にてお買い求めの方のみ、ポストカードプレゼント!(数量限定)

シアター N 渋谷

JR渋谷駅西口下車、歩道橋で246を越え
JTB正面のさくら通り上がる
03-5489-2592 www.theater-n.com

銀座シネパトス

銀座三越先・歌舞伎座手前
03-3561-4660
www.humax-cinema.co.jp